The 8th Southeast Asia Collaborative Symposium on Energy Materials (SACSEM 8th) 報告書

筑波大学数理物質系 国際マテリアルズイノベーション学位プログラムリーダー

エネルギー物質科学研究センター

山本　洋平

開催日時:2022年11月28日(月)〜29日(火)

開 催 場 所:Zoom オンライン  
参 加 人 数:80名

講 演 者: 32 名(教員・講師 14 名、学生 18 名) 関 係 聴 講 者: 48 名

担当部署:国際マテリアルズイノベーション学位プログラム、エネルギー物質科学研究センター

オーガナイザー : 山本洋平、長谷宗明、羽田真毅

参加大学・機関:  
Institut Teknologi Bandung (ITB)  
Universiti Kebangsaan Malaysia (UKM)  
Universiti Teknologi PETRONAS (UTP)  
Universität Duisburg-Essen (UDE)  
King Mongkut's University of Technology Thonburi (KMUTT)

University of Philippines, Diliman(UPD)

East China Normal University (ECNU)

University of Tsukuba (UT)

National Institute for Materials Science (NIMS)

National Institute for Advanced Industrial Science and Technology (AIST)

High Energy Accelerator Research Organization (KEK)

<開催概要>

インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピンなどの東南アジアの大学とのエネルギー材料研究 に関する学術交流を深めるためのシンポジウムを開催した。インドネシアの Institut Teknologi Bandung (ITB)、マレーシアの Universiti Kebangsaan Malaysia (UKM) および Universiti Teknologi PETRONAS (UTP)、タイの King Mongkut's University of Technology Thonburi (KMUTT)、フィリピンの University of Philippines, Diliman(UPD)、ドイツの Universität Duisburg-Essen (CENIDE)、および今回から参加の華東師範大学(ECNU)と筑波大学およびつくば地区の研究機関（NIMS, AIST, KEK）が交流を深めるために、2 日間のオンラインシンポジウムを実施した。教員のプレゼンテーション（11月28日）、学生のプレゼンテーション（11月29日）を行い、計80名が参加した。研究分野としては、太陽電池、燃料電池触媒、バッテリー、光機能材料、水素生成材料などエネルギー・環境材料の研究が多かった。